

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : シリカゲル乾燥剤 白・不織布袋
会社名 : 株式会社MonotaRO
所在地 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 : 商品お問合せ窓口
電話番号 : 0120-443-509
FAX番号 : 0120-289-888
緊急連絡先 : 所在地と同じ
整理番号 : M240509

2. 危険有害性の要約<GHS分類>

物理化学的危険性

<危険有害性項目>	<分類結果>
・爆発物・可燃性ガス・エアゾール	: 分類対象外
・酸化性ガス	: 分類対象外
・高圧ガス	: 分類対象外
・引火性液体	: 分類対象外
・可燃性固体	: 区分に該当しない
・自己反応性化学品	: 分類対象外
・自然発火性液体	: 分類対象外
・自然発火性固体	: 区分に該当しない
・自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
・水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
・酸化性液体	: 分類対象外
・酸化性固体	: 分類できない
・有機過酸化物	: 分類対象外
・金属腐食性化学品	: 分類できない
・鈍性化爆発物	: -

健康に対する有害性

<危険有害性項目>	<分類結果>
・急性毒性(経口・経皮)	: 区分に該当しない
・急性毒性(吸入:ガス・蒸気・粉塵・ミスト)	: 分類対象外
・皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない
・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
・呼吸器感作性	: 分類できない
・皮膚感作性	: 分類できない
・生殖細胞変異原性	: 分類できない
・発がん性	: 分類できない
・生殖毒性	: 分類できない
・特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 分類できない
・特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 分類できない
・誤えん有害性	: 分類できない

環境に対する有害性

<危険有害性項目>	<分類結果>
・水生環境有害性 短期（急性）	: 分類できない
・水生環境有害性 長期（慢性）	: 分類できない
・オゾン層への有害性	: 分類できない

3. 組成及び成分情報

<単一製品・混合物の区別>	: 単一製品（シリカゲル白/非晶質沈降シリカ）
<化学名>	: A形シリカゲル（別名：二酸化ケイ素、二酸化けい素） （英名）Silica gel・Silicon dioxide（EINECS名称）
<成分及び含有量>	: A形シリカゲル（二酸化ケイ素） 98%以上
<化学式及び構造式>	: $SiO_2 \cdot nH_2O$
<分子量>	: 不定
<官報公示整理番号（化審法）>	: 二酸化ケイ素 既存化学物質（1）-548
<CAS No.>	: 二酸化ケイ素 112926-00-8
<危険有害性成分>	: 労働安全衛生法/非該当

4. 応急処置

<吸入した場合>	: 大量に吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、必要に応じて医師の手当てを受けること
<皮膚に付着した場合>	: 接触した部位を水で洗浄し、皮膚に刺激等がある場合は、必要に応じて医師の手当てを受けること
<目に入った場合>	: ガラス破片状に尖ったものがあるため、目を傷つけない様に清浄な水で15分以上洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けること
<飲み込んだ場合>	: 速やかに水でうがいをし、必要に応じて医師の手当てを受けること

5. 火災時の措置

<適切な消火剤>	: 不燃物
<使ってはならない消火剤>	: 液体系消火薬剤及び水

6. 漏出時の措置

<人体に対する注意事項>	: 応急措置の項目に留意し、床等にこぼれた場合は、滑りやすいので速やかに回収する
<保護具及び緊急時措置>	: 回収の際には必要に応じて適切な保護具を着用する 水に直接触れると細かく割れて飛散することがあるので保護具（マスク、ゴーグル、手袋）を着用すること
<環境に対する注意事項>	: 河川等に流入し、環境へ影響しないように注意する
<封じ込め及び浄化方法及び機材>	: 掃き集めたうえで容器等へ収容する

7. 取扱い及び保管上の注意

<取扱い上の注意事項>	
・取扱者のばく露防止策	: 必要に応じて適切な保護具を着用する
・技術的対策	: 作業場所は十分に換気をする
・粉じんの発生防止策	: 粉塵を吸引しない様に出来るだけ風上で作業する
<保管上の注意事項>	
・混合接触を避けるべき化学物質	: フッ化水素、強アルカリ
・保管条件	: 直射日光及び水濡れを避けた屋内の冷暗所に保管し、容器又は製品を直接床に置かない

8. ばく露防止及び保護措置

<ばく露防止>

・管理濃度、許容濃度

: 設定されていない

日本産業衛生学会(2015年度版)

第3種粉塵 吸入性 2mg/m³ 総粉塵 8mg/m³

ACGIH 米国産業衛生専門家会議 TLV-TWA 10mg/m³

・設備対策

: 非該当

<保護措置>

: 適切な保護具 (マスク、ゴーグル、手袋の着用など)

9. 物理的及び化学的性質

<化学品の外観 (状態、形状、色)>

: 主に球状、或いはその破砕状、白色

<臭い>

: 無臭

<融点>

: 2230℃/1713℃

<引火点、自然発火温度>

: 非該当

<溶解度>

: フッ化水素、強アルカリに溶解

10. 安定性及び反応性

<避けるべき条件>

: データなし

<混触危険物質>

: データなし

<危険有害な分解生成物>

: データなし

11. 有害性情報

(出典元/nite)

<急性毒性> (経口)

: 区分に該当しない: 毒性値=5110mg/kg

<急性毒性> (経皮)

: 区分に該当しない: 毒性値=5000mg/kg

<急性毒性> (吸入: 気体)

: GHS 定義による気体ではない。

<急性毒性> (吸入: 蒸気)

: 区分に該当しない (分類対象外)

<急性毒性> (吸入: 粉じん、ミスト)

: 分類できない

<皮膚腐食性/刺激性>

: 区分に該当しない

<眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性>

: 区分 2B

[日本公表根拠データ] ラビット 回復性の軽度の結膜刺激 (SIDS, 2006)

<呼吸器感作性>

: 分類できない

毒性が未知の成分を 99.9%含有。

毒性未知成分を含有しているため、分類できない。

<皮膚感作性>

: 分類できない

<生殖細胞変異原性>

: 分類できない

<発がん性>

: 分類できない

<生殖毒性>

: 分類できない

<生殖毒性・授乳影響>

: 分類できない

<特定標的臓器毒性> (単回ばく露)

: 区分 3: 臓器=気道刺激性

[日本公表根拠データ] 気道刺激性 (SIDS, 2006)

<特定標的臓器毒性> (反復ばく露)

: 分類できない

<誤えん有害性>

: 分類できない

12. 環境影響情報

<水生環境有害性> 短期 (急性)

: 区分に該当しない 毒性値 (魚類) =10000mg/l、毒性値 (甲殻類) =なし、毒性値 (藻類) =なし

<水生環境有害性> 長期 (慢性)

: 分類できない: 毒性値 (魚類) =なし、毒性値 (甲殻類) =なし、毒性値 (藻類) =なし、急速分解性= 不明

<オゾン層への有害性>

: 分類できない

13. 廃棄上の注意	
＜残余廃棄物＞	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
＜汚染容器及び包装＞	: 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に内容物を明示して委託する。 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
＜国際規則＞	
・海上規制情報	: 非危険物
・航空規制情報	: 非危険物
＜国内規則＞	
・陸上規制情報	: 非該当
・海上規制情報	: 非危険物
・航空規制情報	: 非危険物
＜特別な安全対策＞	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、濡れのないように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。
15. 適用法令	
＜粉じん障害予防規則＞	: 非晶質シリカ（シリカゲル、沈降シリカ） 粉じん作業に該当する場合は適用される（基安発 1024 第 1 号別紙を参照）。
＜改正化学物質排出把握管理促進法＞	: 対象物質の含有なし
＜輸出貿易管理令＞	: 別表 1 の 16 項(キャッチオール規制) 第 28 類(無機化学品)HS コード 2811.22(2021.1.1 版)
16. その他の情報及び参考文献	
	: シリカゲル製造元 MSDS : 厚生労働省 職場の安全サイト HP : JISHA 日本中央労働災害防止協会 HP : 日本中央労働災害防止協会 安全衛生情報センターHP : nite 独立行政法人製品評価技術基盤機構 HP (「GHS 分類結果 シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素 CAS-No.112926-00-8)」)
＜補足事項＞	
・眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 分類に適した二酸化ケイ素のデータが見つからず、データ不足のため分類できない
・発がん性	: 本 CAS 番号が示す物質群はシリカ (SiO ₂) で、シリカの全形態が包含される (ECETOC JACC No. 51 (2006))。本物質群には結晶質シリカが含まれ、その発がん性分類結果が適用可能と考えられるが、分類に適した二酸化ケイ素のデータが見つからず、データ不足のため分類できない
・特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 反復暴露に比べるとデータが大幅に少ないが、ヒトにおいて短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に

- 影響を及ぼすとの記述が IARC68(1997)、SITTIG(4th, 2002)、DHP(13th, 2002)にあるが、分類に適した二酸化ケイ素のデータが見つからず、データ不足のため分類できない
- ・ 特定標的臓器毒性(反復暴露) : Priority1 文書の CICAD24(2000)、IARC68(1997)、DFGOT vol. 14(2000)、ACGIH-TLV(2005)に、ヒトにおいて呼吸器系、腎臓に影響を及ぼすとの記述があるが、分類に適した二酸化ケイ素のデータが見つからず、データ不足のため分類できない
-

記載内容は現在までに入手した情報に基づき作成しておりますが、全ての資料・文献を調査したものではないため、危険・有害性に関する評価は必ずしも十分ではなく、保証をするものではありません。また、新しいデータの発表や従来説の訂正により内容に変更が生じます。注意事項等は通常の手扱いを対象としたもので、重要な用途にご利用される場合は新たに適切な安全対策及び試験による確認等を実施のうえ、お取り扱い下さい。